

コース内容 腎臓内科

研修責任者

酒巻 雄一郎 (日本内科学会認定内科専門医)

指導医

酒巻 雄一郎 (日本内科学会認定内科専門医)

一般目標

腎臓学会、透析医学界で定められている疾患を経験し、研修カリキュラム評価表の自己評価欄に記入する。その理解と認識を研修責任者が評価し記入する。

日本腎臓学会、日本透析医学会、腎疾患に関連のある研究会に積極的に出席し、発表（投稿）も行う。

日本内科学会認定医（可能なら専門医）を取得し、最終的には日本腎臓学会専門医、日本透析医学会専門医取得を行う。

研修内容

急性腎不全・慢性腎不全・ネフローゼ症候群・糖尿病性腎症・急性および慢性糸球体腎炎・血液透析患者・急性血液浄化を必要とする患者を受け持ち、その病状・病態を把握し、適切な検査・治療を行えるように指導・教育する。特に血液透析患者については、血液透析導入患者の担当医となり、透析導入期の治療目標・薬物治療の概要についての教育を行う。

講義内容

急性腎不全の診断と治療 電解質バランスの異常と治療 腎性貧血の病態と治療
ネフローゼ症候群の最新の治療指針 腎障害時の薬物の投与量・投与方法について
慢性腎不全の病態生理と治療法 血液透析方法の概要 腎生検の適応と方法
糖尿病性腎症の各病期に応じた治療方針 高血圧治療の概説
病棟カンファレンス： 週1回病棟看護師とともに進行。

行動目標

- (1) 以下の検査、手技が自らできる。
 - 腎生検 ダブルルーメンカテーテル挿入（内シャント穿刺）
 - 透析のプライミング 超音波（腎、膀胱）
- (2) 腎疾患（血液浄化適応疾患を含む）全般を理解し、治療方針を立てられる。
- (3) 後輩研修医の教育が出来る。
- (4) 学会誌や腎病理組織学、臨床の教科書は日ごろより読む習慣をつける。